

作成日 2019/04/18
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 男前モノタロウ バイク用汎用4サイクルエンジンオイル(MA SL 10W-30)
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
整理番号 M190418

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分外
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
潤滑油基油	80~90.0%	不明	不明	不明	不明
潤滑油添加剤	10.0~20.0%	不明	不明	不明	不明

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置 皮膚に付着した場合

水と石鹼で付着した部分を洗う。

眼に入った場合

清浄な水で最低15分位目を洗浄したのち医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。
口の中の汚れは水で十分に洗う。

応急手当後

異常を感じる場合はただちに、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

火元への燃焼剤を断つ
初期の火災には、粉末・炭酸ガス消火器を使用。
大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気の遮断をすることが有効であるも、注水は火災を拡大し、危険を伴う場合は現地消防職員の指示に従う。
周囲の設備に散水して冷却する。
消火作業の際には、風上から行き、保護具を着ける。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りをさせない。

6. 漏出時の措置

周囲の着火源を取り除く。
 大量の場合漏出した周囲にロープを張るなどして立入を禁じ、漏出オイルは土砂でその流れを止め安全な場所に導き空容器の回収する。
 河川下水管等に排出しない様にする。
 少量の場合、土砂・ウエス等の吸着に空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

指定数量以上の取扱は、法で定められた取扱所等で行う。
 炎・火花・高温物質との接触を避け濫りに蒸気を発生しない。
 常温で取扱い、その際水分夾雑物の混入を避ける。
 静電気対策を行い作業衣・靴等も導電性のものを使用する。
 製品置場は換気及び火気などに対する注意が必要。
 危険物が残存している器具等を修理する場合は、安全な場所で抜きとってから行う。
 皮膚に触れたり目に入る恐れのあるときは保護具を着ける。
 使用後の容器は密閉し換気の良い冷暗所で保管する。
 保管場所では強酸性・アルカリ類・酸化性物質との混在を避け、使用する電気器具は防爆型とし接地する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
潤滑油基油	未設定	未設定	未設定

設備対策
 ミストが発生する場合は発生源の密閉化又は排気装置を設備取扱い場所の近くに洗眼・身体洗浄設備。

保護具
 長期間又は反復し接触する際は眼鏡・耐油性の靴・作業衣を着用。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	形状	液体
	色	茶色
臭い		データなし
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		204°C以上(COC)
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	1.0%(推定値)
	上限	7.0%(推定値)
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		0.8709
溶解度		水にほとんど溶解しない。
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし

分解温度 データなし
 粘度(粘性率) データなし
 動粘性率 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 強酸化剤との接触を避ける。
 化学的安定性 常温・常圧で安定
 危険有害反応可能性 強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。

避けるべき条件 強酸化剤との接触を避ける。
 混触危険物質 強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。
 危険有害な分解生成物 燃焼等により一酸化炭素等が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性 経口
 経皮
 吸入

データ不足のため分類できない。
 データ不足のため分類できない。
 (気体)
 GHS定義による気体ではない。
 (蒸気)
 データ不足のため分類できない。
 (粉じん・ミスト)
 データ不足のため分類できない。
 データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
 眼に対する重篤な損傷性
 又は眼刺激性

データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

(呼吸器感作性)

生殖細胞変異原性
 発がん性
 生殖毒性

データ不足のため分類できない。
 (皮膚感作性)
 データ不足のため分類できない。
 データ不足のため分類できない。
 データ不足のため分類できない。
 (生殖毒性)
 データ不足のため分類できない。
 (生殖毒性・授乳影響)
 データ不足のため分類できない。
 データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性

動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

水生環境有害性(長期間)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

投棄禁止

汚染容器及び包装

埋立処分を行う場合、安全な焼却設備で燃殻を埋立する。

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78,Annex II ,and
the IBC code.

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附属
書II 及びIBC コードに
よるばら積み輸送さ
れる液体物質

非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

消防法
労働基準法

鉱油(政令番号:168)(80%-90%)
第4類 引火性液体 第四石油類
がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

その他

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。